

上記実現に向けて各小委員会は合同委員会を随時開催して情報の交換や人材支援を行い、おたがいの調整をして効率よく開かれた委員会造りを行う。又目標に果敢に挑戦し一層の親睦と奉仕の理想を追求し、北クラブと会員が実り多い進加する味方年度の実現を図る。

#### 職業奉仕委員会 早川瀧雄

四大奉仕委員会の中でロータリーの基本である職業を通しての奉仕活動で各自の職業を先づもって奉仕しなければならない。ボランティアーズ委員会と協力して10月の職業奉仕月間に地元ボランティア活動に貢献している人から卓話の依頼を考えている。又地域内のボランティア活動の実状を調整しその集合体（地域内の連絡協議会）へのロータリーとしての参加と連携を計ってゆきたい。又恒例による職業例会も職業奉仕月間に考えている。

#### 社会奉仕委員会 梨本清一

人間尊重、地域発展、環境保全の各小委員会は、共に協力して（一緒に）考え行動する。特に創立10周年、記念すべき年度の社会奉仕事業として現状を見据え将来を展望し英知を出し合い、真心こもる事業を展開したい。

- ①全会員のコミュニケーションを密にし、会員総意による「10周年記念社会奉仕事業」として取組む（10周年記念事業）
- ②プロバスクラブ結成のための調査、研究をする（人間尊重）
- ③燕三条駅前「青少年健全育成塔」の標語の見直しと補修工事をする（地域発展）
- ④薬物乱用防止と啓発のための活動をする（環境保全）
- ⑤五十嵐川クリーン事業に積極的に参加するほか、地球環境浄化のための活動を模索する（環境保全）

#### 青少年奉仕委員会 長谷川恵慈

今年度の青少年奉仕委員会は、私と副委員長の日黒さんの二人、ライラは松永委員長と斎藤副委員長の二人す。よろしくお願ひします。

子供のころから、物を与えられる事や何かをしてもらう事に慣れ過ぎた青少年に、奉仕活動を通じて、社会に貢献する事により喜びを感じる様になってもらいたいと考えます。

また、残念ながら現在非行に走っている青少年を健全な方向に導く為には、私たちが何をしたら良いのかよく判りません。

以上の事から、市の青少年健全育成関係の人々と、共に考え行動し、よりよい方法を調査、研究したいと思ひます。

#### 10周年実行委員会 山上茂夫

10周年実行委員長として御挨拶致します。

味方年度に入りましたが、今までに実行委員会は2回開催されました。その以前は準備委員会として活発な会合を行って、様々な意見の集約にお骨折り戴いた様ですが、残念ながらまとまった方

ます。

平松利朗君 味方年度のスタートを祝し、三役のご活躍を期待します。私事ですが、わが社の社名を7月より“㈱ベストツール”と致しました。永年親しんだ旧社名、さすがに感慨ひとしおです。

米山忠俊君 味方年度の舟出で木宮幹事、稲田S A A 1年間お世話になります。よろしくお願ひ致します。

堀川正幸君 味方会長、木宮幹事の活躍を期待します。!

外山晴一君 一昨日のゴルフコンペでいっしょに回らしていただいた堀川さん、梨木さん、坂内さん、それと坂本さんからにぎり総計3,400円いただきました。皆様ありがとうございました。

早川瀧雄君 味方年度の船出を祝って

羽賀一夫君 せっかくはえて来たうぶ毛も会長の一年間で抜けると思ひますが頑張ってください。

大野新吉君 味方年度本日よりご苦勞様です。お陰様で本日よりは昼食の味を十二分に味わいかみしめて致く事が出来ます。クラブのゴルフに急きょ参加する事になり思わぬ優勝をさせて致く事が出来ました。ゴルフを始めて初の優勝です。お陰でハンデ-11引かれ29となり、もう今後優勝出来る事が出来なくなりました。隣の席の五十嵐さんもボックスに協力して

山本充君 ニコニコBOX、やってみてニコニコBOX委員の気持がよくわかりましたので、例会出席時は必ずBOXにお入れすることに致します。

- 梨本清一君 ①味方、木宮年度の出航に際し幸多かれと祈る。  
②金子、布施、山中さんの入会を祝して。

佐藤啓策君 金子俊郎さん、布施勲さん、山中正さんの入会を歓迎します。

佐藤文夫君 布施さん、金子さん、ようこそ仲良くしましょうネ。!

坂内康男君 新年度、会長、幹事さん良ろしくお願ひします。楽しいクラブにして下さい。

今井克義君 会長挨拶で小さい胸を痛められた味方会長、10周年を記念して癒やしてくれる方を探されてはいかがですか？

山上茂夫君 味方年度のスタートを祝して……

山口龍二君 皆さん今年度もニコニコをよろしく

#### ロータリー財団：

江口悟君 味方年度の出発を祝って、又、3名の方の入会を歓迎します。佐藤文夫さんと私の二人で今年度、がんばります。宜しくご協力をお願いします。

## 会長本年度の方針：

1986年12月14日ここロイヤルホテルにて創立総会に始まり、初代中條会長により1987年5月30日、26名の会員で中央公民館においてチャーターナイトが挙行され、あの感激にひたった思いから、いよいよ今年は10周年という記念すべき大きな節目を迎えました。次なる20周年を迎える為の大事な節目の年であります。

チャーターメンバーの勇気ある行動と、歴代会長ならびに会員のご家族の理解、そして諸先輩のアドバイス、地域のさまざまな人達の協力、助言により、私達はロータリーを教へられました。

「今までの歩みに感謝しなければなりません。ロータリーはそれぞれの規模において地域のニーズに応え、時代の波に沿って成長し変化して、進むものである、その進化を促すものは、未来に記すロータリアンの夢であり、そのエネルギーの源は、ロータリーの楽しさである」…とガバナーはのべておられます。

我々は若いクラブであります。今まで学んできたマニュアルをこの10周年という節目において我々の若さ溢れる智慧とユーモアというスパイスをきかせて、花咲かせる年であります。

いろんなロータリーとしての規則はありますが、それはそれとして大事なことも知れませんが、今までのマニュアルにこだわることなく、我々に合った手法で、独自の発想をもって企画プログラムを作成し、全会員の智慧を出し検討し議論をし、そして自らの意志によって、積極的に事業に参加しようではありませんか。

そしてみんなが一緒になって汗を流す事により、友情を深め、ロータリアンとしての充実感を味い奉仕する楽しさを求め、一生記憶に残るような年度にしよう。

我がクラブは会員数の少ないクラブですから10周年を意識したプログラムを達成させる為には、限度があるかもしれませんが、ポールハリスは「計画は小さなものであってはいけない、小さな計画は、人々の血をわかすに足らないし、おそらく、実現もしないだろう。計画は是非とも、違大なものであるべきである」

ビジョンは大きく、果敢に挑戦し、北クラブらしさを主張しましょう。私は本年度の方針として、

ロータリーに元気を、委員会に活力を、

五つの具体的な指針をかかげました。

①10周年事業を全員参加で成功させよう。

10周年事業の達成感が連帯感となり、クラブ全員の友情と目的意識を高めるよう、全メンバーが何んらかの形で周年行事に関りを持ち、事業を盛り上げる工夫をする。

②クラブに活力を与える為、会員の拡大と増強に努める。

5名の新会員の増強を図る。

退会者を出さない工夫をする。特に若い力をクラブに受け入れることで、マンネリ化を防ぎ魅力

ある奉仕活動をする事で、楽しいクラブ作りを目指す。

③委員会はできるだけ多く開催する。

事業計画の中に可能な限り、委員会の開催回数、日時、場所、目的等を明示し、人数の少ない委員会については事業の目的に合せ、合同委員会として開催する。

小委員会は大会と合同で、又関連性のある事業については合同して開催する。

④委員会の目的、事業計画等をメンバーに充分理解してもらう。

クラブ協議会、クラブフォーラムを適宜開催し、全員からの意見も参考にし、検討を加へ、その事業計画の浸透を図る。

委員長は事業を自分一人でやることなく、必ずメンバーに図り、役割を分つよう努める。

ロータリー情報委員会、歴代会長、幹事の協力により、ロータリーに関する組織、運営上の知識、情報、北クラブの歴史等を新入会員はもとより全メンバーにオリエンテーションをする。

⑤委員会事業として、なにか新しいプログラムに挑戦する。

R1会長賞へのプログラムにより、委員会の事業目的を確認し、新しい事業の可能性を探り10周年事業として新しいところが出来ないかを考える。

## 5 大奉仕本年度の方針：

### クラブ奉仕（A）委員会 堀川正幸

クラブ奉仕（A）職業分類、会員増強、会員選考、ロータリー情報の各委員会を代表いたしまして本年度の事業計画を発表させていただきます。

当委員会といたしましては本年度はR1会長の特別な挑戦に応ずることを通してクラブへの奉仕を強化し、ロータリー奉仕の精神を発揮してゆきたいと思えます。

具体的活動計画といたしましては、今後委員会を開いて決定いたしますが、

①7月中旬に合同委員会を開きR1の活動例を参考にしながら、挑戦プログラムを作成いたします。

②8月の会員増強月間に増強の為のクラブフォーラムを開催し、上半期純増3名以上を目指します。

③新会員オリエンテーションを婦人同伴とし理解、協力をお願いします。

④例会後に図説解説その他適時情報を提供します。

### クラブ奉仕（B）委員会基本方針 委員長 米山忠俊

クラブ奉仕（B）の各小委員会は、協力してこの3つのテーマをターゲットとして各事業計画を推進し充実した10周年の年度とする。

クラブ奉仕（B）委員会事業方針

①10周年事業を皆んなで成功させる。

②会員増強を図り、極力退会者をださない。

③カルガリーの世界大会では会長賞に挑戦し受賞する。